

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
【発行日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【公開番号】特開2015-131402(P2015-131402A)  
【公開日】平成27年7月23日(2015.7.23)  
【年通号数】公開・登録公報2015-046  
【出願番号】特願2014-2998(P2014-2998)  
【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月19日(2016.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体を搬送方向に搬送する搬送部と、

第 1 ノズル列と、

前記第 1 ノズル列よりも前記搬送方向の下流側に設けられた第 2 ノズル列と、

前記搬送部によって前記媒体を搬送させながら、前記第 1 ノズル列に含まれるノズル及び前記第 2 ノズル列に含まれるノズルから液体を吐出させることで前記媒体にドットを形成させ、画像データに基づく画像を印刷させる制御部と、を備え、

前記制御部は、

前記画像データに対し、前記搬送方向と交差する方向のドット形成量は増やさずに、前記搬送方向のドット形成量を増やすドット形成量変換処理を施し、

前記ドット形成量変換処理を施した画像データに基づいて前記画像を印刷させることを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の液体吐出装置であって、

前記ドット形成量変換処理は、前記交差する方向のドット形成量を減らして、前記搬送方向のドット形成量を増やす処理であることを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の液体吐出装置であって、

前記制御部は、前記ドット形成量変換処理を施した画像データに、ドットが均一に分散された規則的なパターンを有するディザマスクを用いて二値化処理を施すことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の液体吐出装置であって、

前記制御部は、

前記画像データに含まれる前記交差する方向に延びた所定の幅より細い線を認識し、

認識した前記線に前記搬送方向の前記ドット形成量を増やす画像処理を施すことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 5】

媒体を搬送方向に搬送しながら、第 1 ノズル列に含まれるノズルと、前記第 1 ノズル列

よりも前記搬送方向の下流側に設けられた第２ノズル列に含まれるノズルとから液体を吐出することで前記媒体にドットを形成し、画像データに基づく画像を印刷する液体吐出方法であって、

前記画像データに対し、前記搬送方向と交差する方向のドット形成量は増やさずに、前記搬送方向のドット形成量を増やすドット形成量変換処理を施し、

前記ドット形成量変換処理を施した画像データに基づいて前記画像を印刷することを特徴とする液体吐出方法。

【請求項６】

媒体を搬送方向に搬送させながら、第１ノズル列に含まれるノズルと、前記第１ノズル列よりも前記搬送方向の下流側に設けられた第２ノズル列に含まれるノズルとから液体を吐出させることで前記媒体にドットを形成させる液体吐出装置によって、画像データに基づく画像を印刷させるための印刷用プログラムであって、

前記画像データに対し、前記搬送方向と交差する方向のドット形成量は増やさずに、前記搬送方向のドット形成量を増やすドット形成量変換処理を施す機能と、

前記ドット形成量変換処理を施した画像データに基づいて前記液体吐出装置に前記画像を印刷させる機能と、をコンピューターに実現させることを特徴とする印刷用プログラム

。